

<令和2年度 第1回（第164回）>
中小企業景況調査報告書

町村における中小企業の景況

令和2年 4月 ～ 6月期実績

令和2年 7月 ～ 9月期予測

令和2年5月22日～6月1日調査



福島県商工会連合会

調査概要

1. 調査対象

この調査は、本県の町村部に設置されている商工会地区の中から中小企業の景況を調査したものである。

- (1) 対象地区（14商工会）
松川町、桑折町（広域：国見町・川俣町）、保原町、富久山町、古殿町、船引町（広域：三春町・小野町・滝根町・大越町・都路町・常葉町）、岩瀬（広域：大東・長沼・鏡石町・天栄村）、埴町（広域：棚倉町・矢祭町・鮫川村）、あいづ、只見町、会津坂下町、川内村、鹿島、内郷
- (2) 対象企業数及び業種内訳210企業
製造業50企業、建設業37企業
小売業56企業、サービス業67企業
- (3) 回答企業数208企業（回答率99.0%）

2. 調査対象期間

令和2年4月～6月期を対象とし、調査時点は令和2年6月1日とした。

3. 調査方法

- (1) 対象商工会の経営指導員による訪問面接調査
- (2) 調査対象地区の決定は、商工会地区市町村人口規模別実態を勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向調査）の略で、企業経営者を対象に景況を示すいくつかの指数をアンケート調査して、その結果で景況の判断を表わす指標である。算出方法は、今期と前期、今期と前年同期比あるいは今期と来期（見通し）との比較を行い、増加（上昇・好転）企業の割合から減少（低下・悪化）企業の割合を差し引いたものとする。

前回（令和2. 3. 1）のお天気マーク表

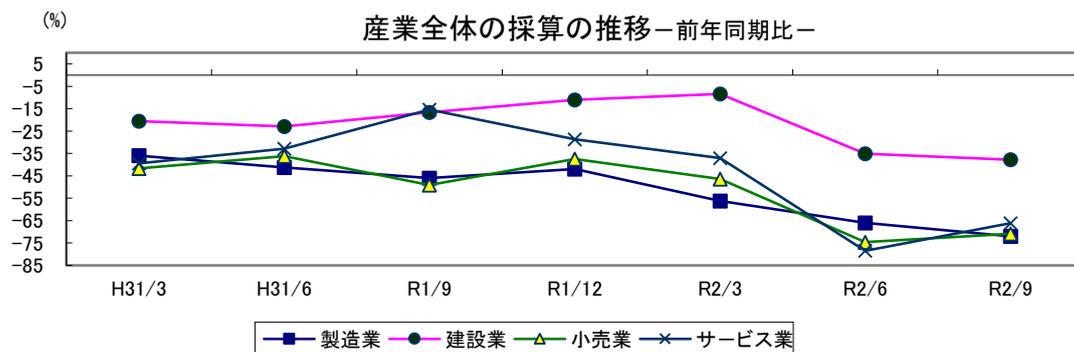
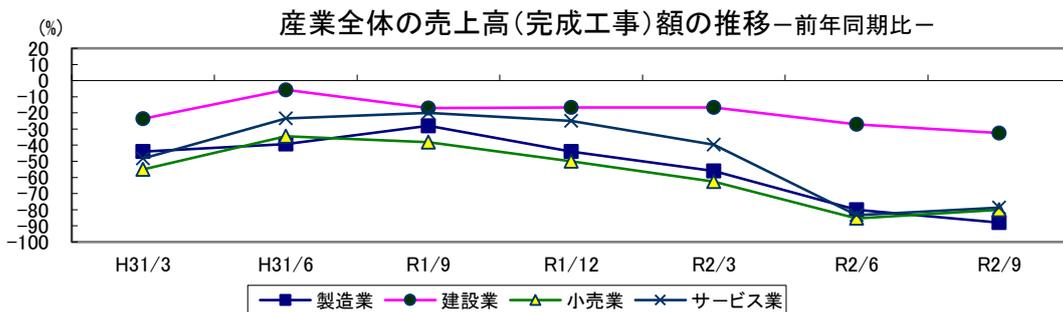
業種	売上状況		採算状況	
	実績	見通し	実績	見通し
製造業	△ 56.1 	△ 56.2 	△ 56.2 	△ 56.2 
建設業	△ 16.6 	△ 22.2 	△ 8.4 	△ 16.7 
小売業	△ 62.6 	△ 69.6 	△ 46.4 	△ 51.8 
サービス業	△ 39.7 	△ 38.1 	△ 37.0 	△ 33.8 

1. 産業全体の景況概要

県内商工会地区における今期(令和2年 4～6月期)の中小企業景況調査の結果によると、前期DI値と比較して売上額(完成工事額)では、製造業(23.9ポイント悪化)で大幅な悪化、建設業(10.5ポイント悪化)で悪化、小売業(22.8ポイント悪化)、サービス業(43.7ポイント悪化)で大幅な悪化となっている。採算においては、製造業(9.8ポイント悪化)でやや悪化、建設業(26.7ポイント悪化)、小売業(28.2ポイント悪化)、サービス業(41.5ポイント悪化)で大幅な悪化となっている。

また、今期DI値と比較した来期(令和2年 7～9月期)の見通しは売上額(完成工事額)では、製造業(8ポイント悪化)、建設業(5.4ポイント悪化)でやや悪化、小売業(5.4ポイント改善)、サービス業(4.6ポイント改善)でほぼ現状維持の見通しとなっている。採算においては、製造業(6ポイント悪化)でやや悪化、建設業(2.7ポイント悪化)、小売業(3.7ポイント改善)でほぼ現状維持、サービス業(12.4ポイント改善)で好転の見通しとなっている。

お天気マークを見ると、今期の売上額(完成工事額)において、製造業、小売業で今期大雨から来期まで大雨、建設業、サービス業で今期雨から来期まで雨の見通しとなっている。採算において、製造業で今期大雨から来期まで大雨、小売業で今期雨から来期大雨、建設業で今期小雨から来期雨、サービス業で今期雨から来期まで雨の見通しとなっている。



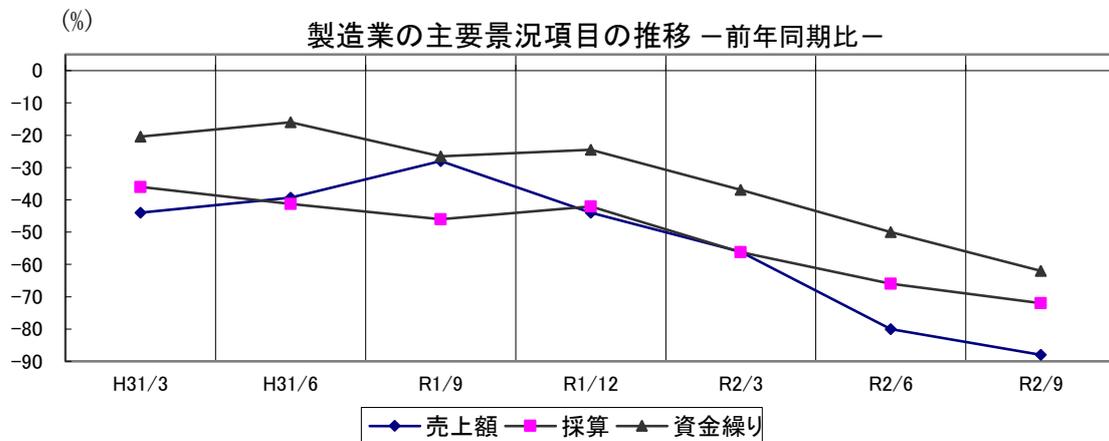
産業全体のお天気マーク-前年同期比-

業種	主要指標	売上状況		採算状況		お天気マークの説明
		実績	見通し	実績	見通し	
製造業		△ 80.0 	△ 88.0 	△ 66.0 	△ 72.0 	<お天気マークの説明> <マークは各指標のDI値を示す> +15%以上 晴 +5%~+14.9% 薄日 ±4.9% 曇 -5%~-14.9% 小雨 -15%~-49.9% 雨 -50%以下 大雨
建設業		△ 27.1 	△ 32.5 	△ 35.1 	△ 37.8 	
小売業		△ 85.4 	△ 80.0 	△ 74.6 	△ 70.9 	
サービス業		△ 83.4 	△ 78.8 	△ 78.5 	△ 66.1 	

2. 製造業

今期(令和2年 4～6月期)の前年同期比DI値は、前期DI値と比較して売上高でマイナス80.0ポイント(23.9ポイント悪化の大幅な下向き)、採算でマイナス66.0ポイント(9.8ポイント悪化のやや下向き)、資金繰りでマイナス50.0ポイント(13.1ポイント悪化の下向き)と、売上高、採算、資金繰りで悪化となっている。

来期(令和2年 7～9月期)見通しの前年同期比DI値は、今期DI値と比較して売上高でマイナス88.0ポイント(8.0ポイント悪化のやや下向き)、採算でマイナス72.0ポイント(6.0ポイント悪化のやや下向き)、資金繰りでマイナス62.0ポイント(12.0ポイント悪化の下向き)の見通しと、売上高、採算でやや悪化、資金繰りで悪化の見通しとなっている。



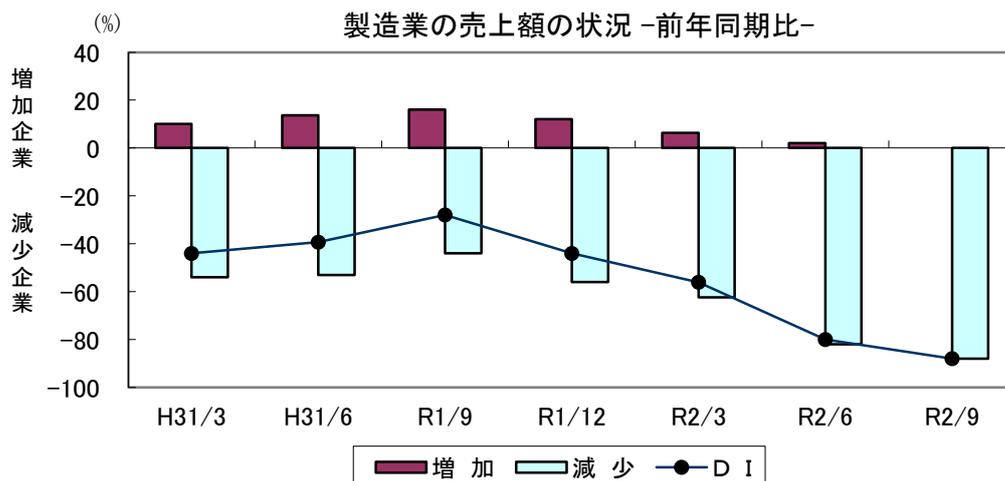
◎売上(加工)額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から4.3ポイント減少し、2.0%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から19.6ポイント増加し、82.0%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から23.9ポイント悪化し、マイナス80.0ポイントと大幅な下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して8.0ポイント悪化し、マイナス88.0ポイントとやや下向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が2.0ポイント減少、「減少」と回答した企業が6.0ポイント増加であることから、やや悪化の見通しとなっている。

◎製造業の売上(加工)額(前年同期比)

					前期	今期	見通し
年/月	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
増加	10.0	13.7	16.0	12.0	6.3	2.0	0.0
減少	54.0	53.0	44.0	56.0	62.4	82.0	88.0
D I	△ 44.0	△ 39.3	△ 28.0	△ 44.0	△ 56.1	△ 80.0	△ 88.0



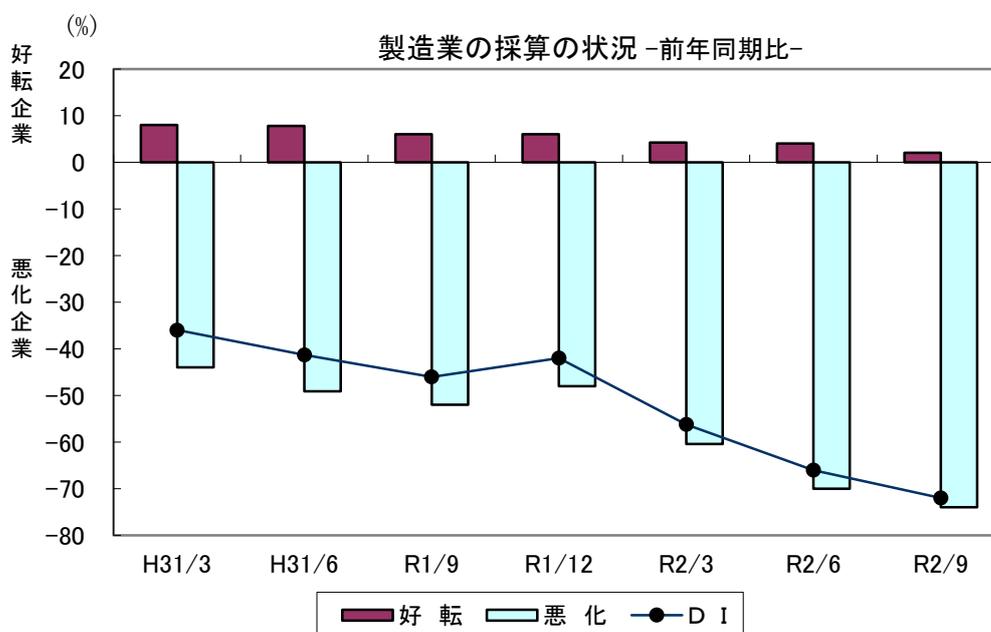
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から0.2ポイント減少し、4.0%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から9.6ポイント増加し、70.0%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から9.8ポイント悪化し、マイナス66.0ポイントとやや下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して6.0ポイント悪化し、マイナス72.0ポイントとやや下向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.0ポイント減少、「悪化」と回答した企業が4.0ポイント増加であることから、やや悪化の見通しとなっている。

◎製造業の採算（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
好転	8.0	7.8	6.0	6.0	4.2	4.0	2.0
悪化	44.0	49.1	52.0	48.0	60.4	70.0	74.0
D I	△ 36.0	△ 41.3	△ 46.0	△ 42.0	△ 56.2	△ 66.0	△ 72.0



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から0.2ポイント減少し、2.0%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から12.9ポイント増加し、52.0%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から13.1ポイント悪化し、マイナス50.0ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して12.0ポイント悪化し、マイナス62.0ポイントと下向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.0ポイント減少、「悪化」と回答した企業が10.0ポイント増加であることから、悪化の見通しとなっている。

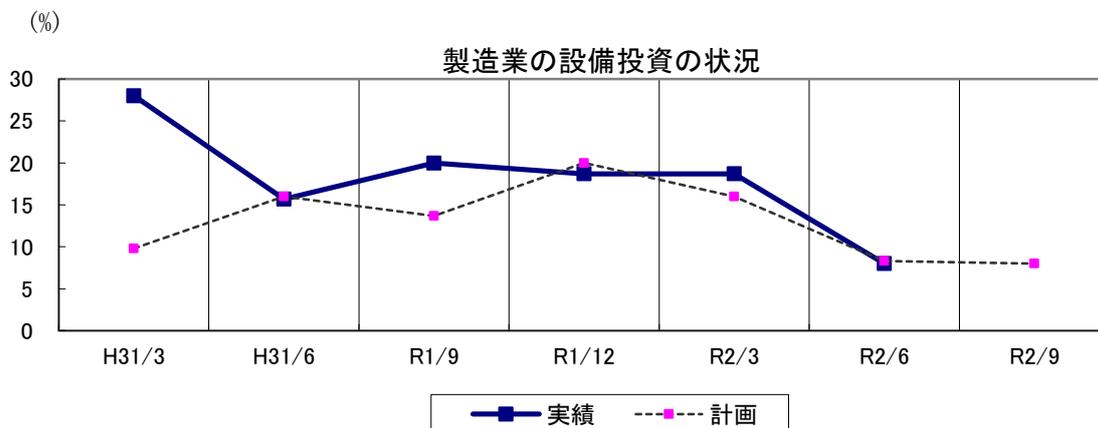
◎製造業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
好転	6.1	6.0	4.1	4.1	2.2	2.0	0.0
悪化	26.5	22.0	30.6	28.6	39.1	52.0	62.0
D I	△ 20.4	△ 16.0	△ 26.5	△ 24.5	△ 36.9	△ 50.0	△ 62.0

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から10.7ポイント減少し8.0%となっている。投資内容では「OA機器」が50.0%、「工場建物」「車両・運搬具」「付帯施設」が25.0%で、他は0%となっている。

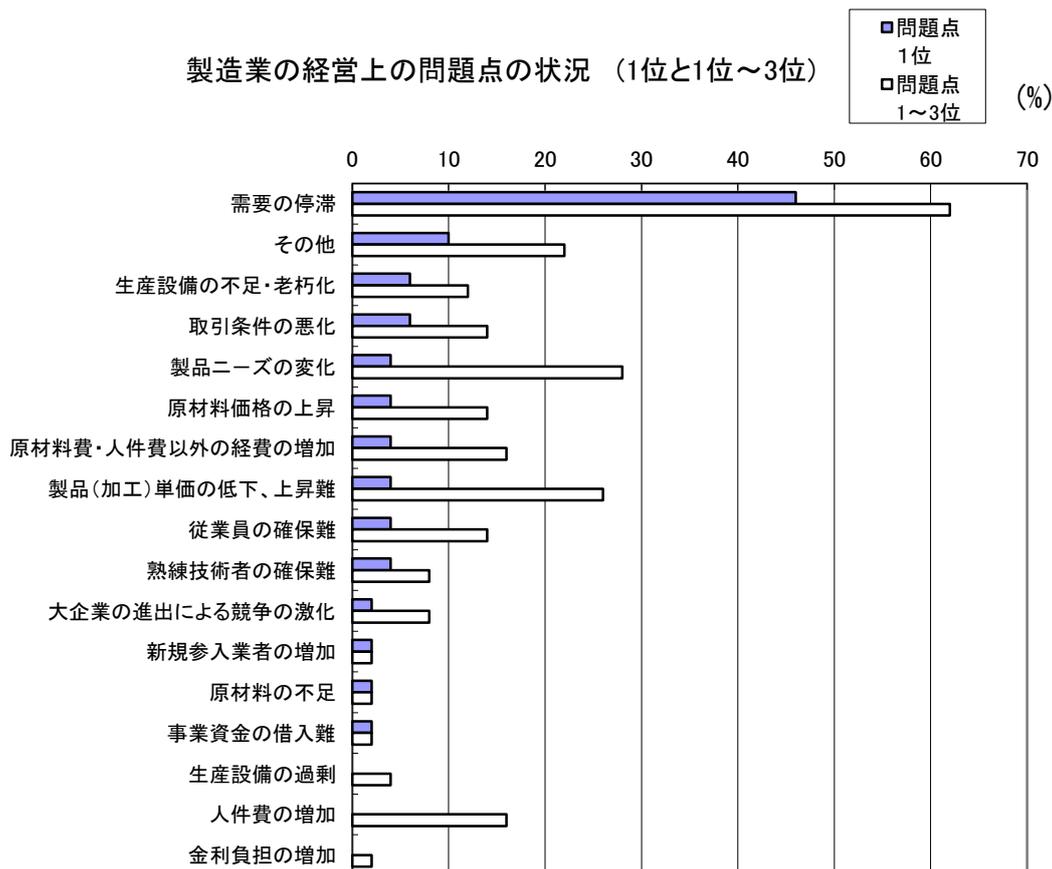
来期に設備投資を計画している企業は8.0%であり、今期計画から0.3ポイント減少、今期実績からは今期と同様の8.0%となっている。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「需要の停滞」が46.0%、「その他」が10.0%、他は10%未満となっている。

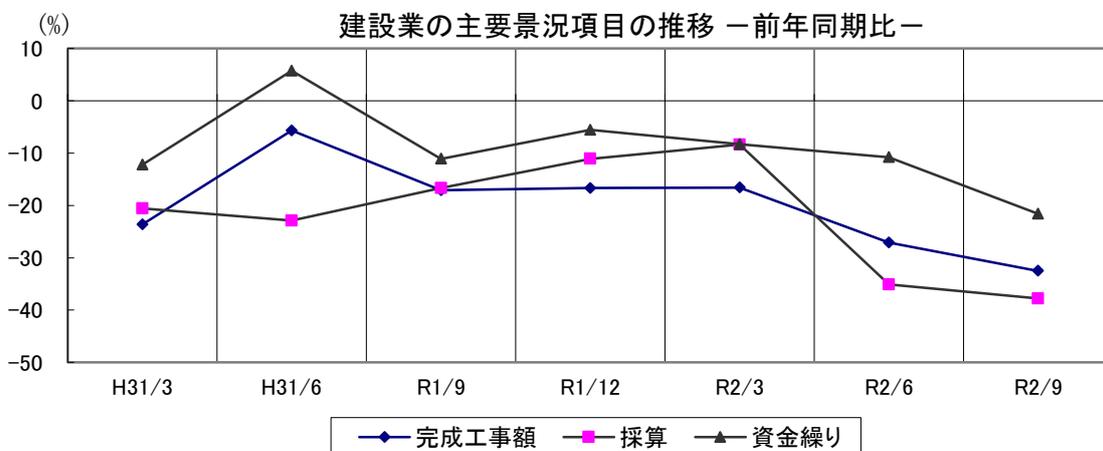
第1位～3位までの合計の問題点は、「需要の停滞」(複数回答以下同じ)が62.0%、「製品ニーズの変化」が28.0%、「製品(加工)単価の低下、上昇難」が26.0%、「その他」が22.0%、「人件費の増加」「原材料費・人件費以外の経費の増加」が16.0%、「原材料価格の上昇」「取引条件の悪化」「従業員の確保難」が14.0%、「生産設備の不足・老朽化」が12.0%、他は10%未満となっている。



3. 建設業

今期(令和2年 4～6月期)の前年同期比DI値は、前期DI値と比較して売上高でマイナス27.1ポイント(10.5ポイント悪化の下向き)、採算でマイナス35.1ポイント(26.7ポイント悪化の大幅な下向き)、資金繰りでマイナス10.8ポイント(2.5ポイント悪化のほぼ横ばい)と、売上高で悪化、採算で大幅な悪化、資金繰りでほぼ現状維持となっている。

来期(令和2年 7～9月期)見通しの前年同期比DI値は、今期DI値と比較して売上高でマイナス32.5ポイント(5.4ポイント悪化のやや下向き)、採算でマイナス37.8ポイント(2.7ポイント悪化のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス21.6ポイント(10.8ポイント悪化の下向き)の見通しと、売上高でやや悪化、採算でほぼ現状維持、資金繰りで悪化の見通しとなっている。



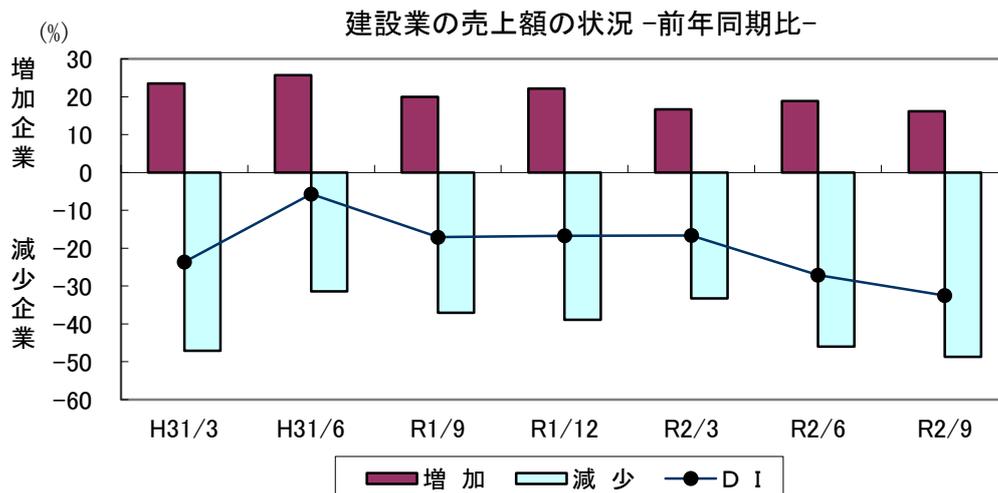
◎完成工事額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から2.2ポイント増加し、18.9%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から12.7ポイント増加し、46.0%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から10.5ポイント悪化し、マイナス27.1ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して5.4ポイント悪化し、マイナス32.5ポイントとやや下向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が2.7ポイント減少、「減少」と回答した企業が2.7ポイント増加であることから、やや悪化の見通しとなっている。

◎建設業の完成工事額 (前年同期比)

年 / 月	前 期				今 期		見通し
	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
増 加	23.5	25.7	20.0	22.2	16.7	18.9	16.2
減 少	47.1	31.4	37.1	38.9	33.3	46.0	48.7
D I	△ 23.6	△ 5.7	△ 17.1	△ 16.7	△ 16.6	△ 27.1	△ 32.5



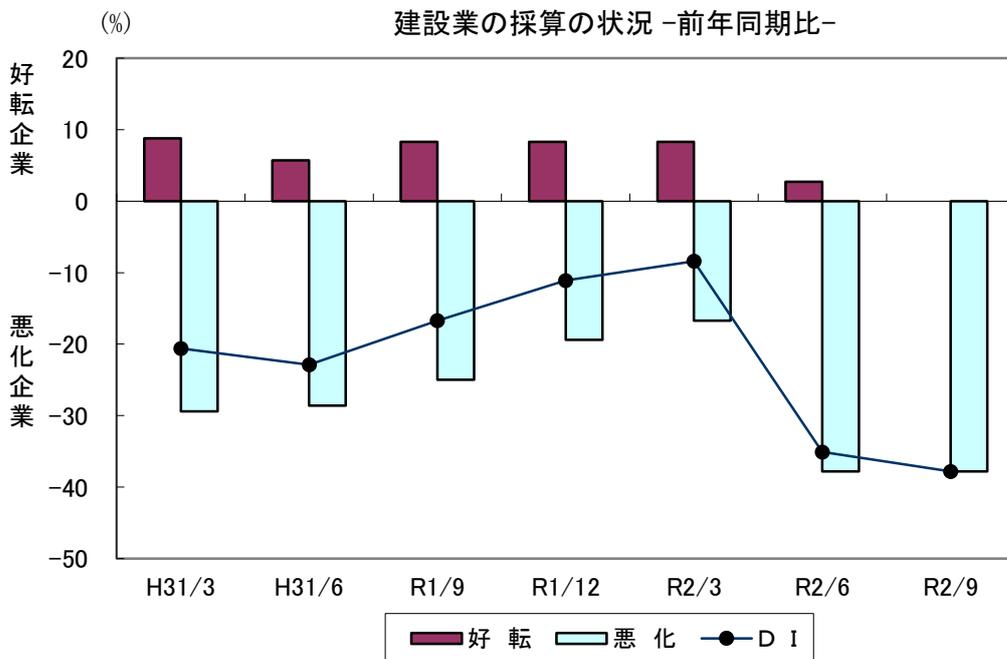
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から5.6ポイント減少し、2.7%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から21.1ポイント増加し、37.8%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から26.7ポイント悪化し、マイナス35.1ポイントと大幅な下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して2.7ポイント悪化し、マイナス37.8ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.7ポイント減少、「悪化」と回答した企業が今期と同様の37.8%であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

◎建設業の採算（前年同期比）

					前期	今期	見通し
年 / 月	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
好転	8.8	5.7	8.3	8.3	8.3	2.7	0.0
悪化	29.4	28.6	25.0	19.4	16.7	37.8	37.8
D I	△ 20.6	△ 22.9	△ 16.7	△ 11.1	△ 8.4	△ 35.1	△ 37.8



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から5.3ポイント増加し、8.1%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から7.8ポイント増加し、18.9%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から2.5ポイント悪化し、マイナス10.8ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して10.8ポイント悪化し、マイナス21.6ポイントと下向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が5.4ポイント減少、「悪化」と回答した企業が5.4ポイント増加であることから、悪化の見通しとなっている。

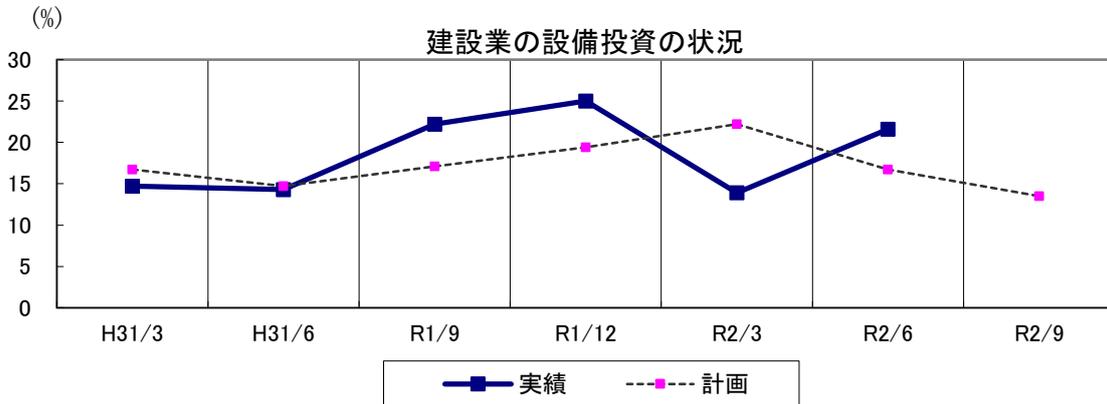
◎建設業の資金繰り（前年同期比）

					前期	今期	見通し
年 / 月	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
好転	3.0	14.3	0.0	8.3	2.8	8.1	2.7
悪化	15.2	8.6	11.1	13.9	11.1	18.9	24.3
D I	△ 12.2	5.7	△ 11.1	△ 5.6	△ 8.3	△ 10.8	△ 21.6

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から7.7ポイント増加し21.6%となっている。投資内容では「車両・運搬具」が50.0%、「OA機器」が37.5%、「建設機械」「福利厚生施設」「その他」が12.5%で、他は0%となっている。

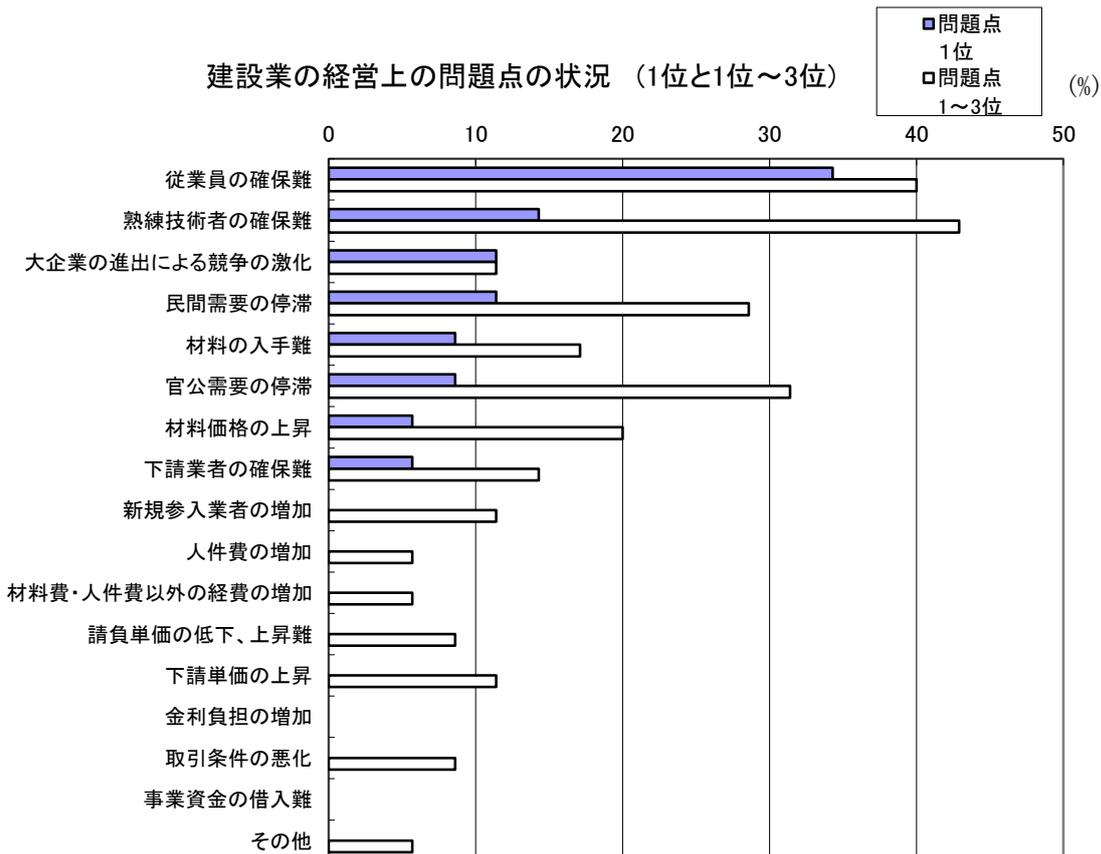
来期に設備投資を計画している企業は13.5%であり、今期計画から3.2ポイント減少、今期実績からは8.1ポイント減少している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「従業員の確保難」が34.3%、「熟練技術者の確保難」が14.3%、「大企業の進出による競争の激化」「民間需要の停滞」が11.4%、他は10%未満となっている。

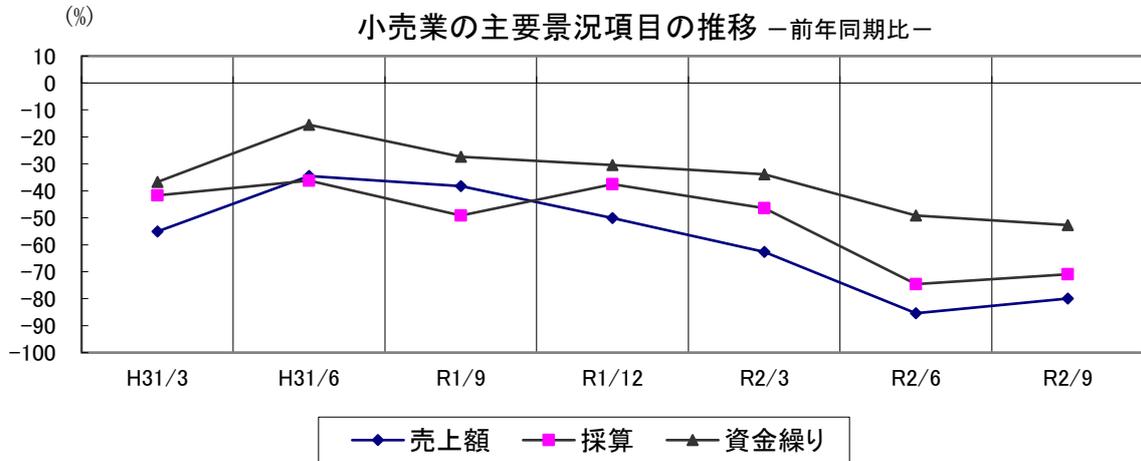
第1位～3位までの合計の問題点は、「熟練技術者の確保難」(複数回答以下同じ)が42.9%、「従業員の確保難」が40.0%、「官公需要の停滞」が31.4%、「民間需要の停滞」が28.6%、「材料価格の上昇」が20.0%、「材料の入手難」が17.1%、「下請業者の確保難」が14.3%、「大企業の進出による競争の激化」「新規参入業者の増加」「下請単価の上昇」が11.4%、他は10%未満となっている。



4. 小 売 業

今期(令和2年 4～6月期)の前年同期比DI値は、前期DI値と比較して売上高でマイナス85.4ポイント(22.8ポイント悪化の大幅な下向き)、採算でマイナス74.6ポイント(28.2ポイント悪化の大幅な下向き)、資金繰りでマイナス49.1ポイント(15.2ポイント悪化の下向き)と、売上高、採算で大幅な悪化、資金繰りで大幅な悪化となっている。

来期(令和2年 7～9月期)見通しの前年同期比DI値は、今期DI値と比較して売上高でマイナス80.0ポイント(5.4ポイント改善のほぼ横ばい)、採算でマイナス70.9ポイント(3.7ポイント改善のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス52.7ポイント(3.6ポイント悪化のほぼ横ばい)の見通しと、売上高、採算、資金繰りでほぼ現状維持の見通しとなっている。



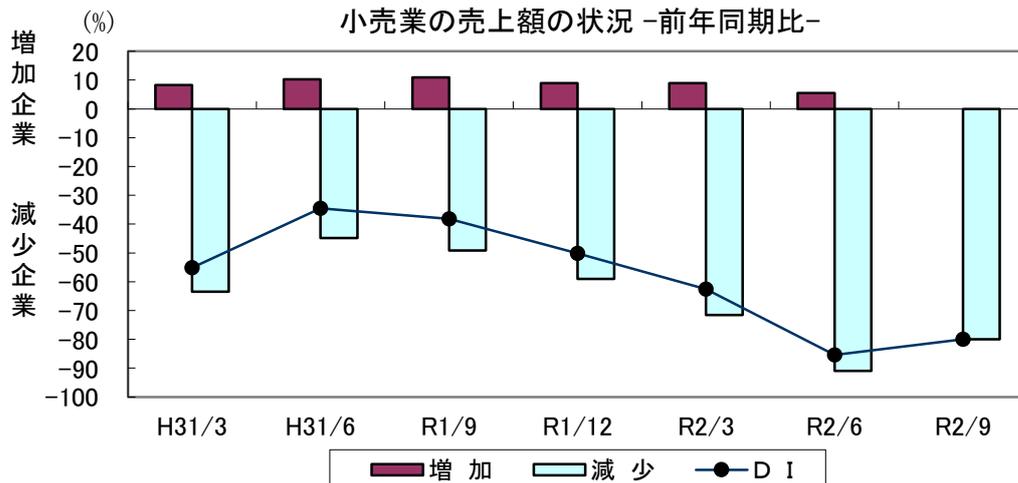
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から3.4ポイント減少し、5.5%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から19.4ポイント増加し、90.9%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から22.8ポイント悪化し、マイナス85.4ポイントと大幅な下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して5.4ポイント改善し、マイナス80.0ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「増加」と回答した企業が5.5ポイント減少、「減少」と回答した企業が10.9ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

◎小売業の売上額 (前年同期比)

年 / 月	前 期				今 期		見通し
	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
増 加	8.3	10.3	10.9	8.9	8.9	5.5	0.0
減 少	63.4	44.8	49.1	59.0	71.5	90.9	80.0
D I	△ 55.1	△ 34.5	△ 38.2	△ 50.1	△ 62.6	△ 85.4	△ 80.0



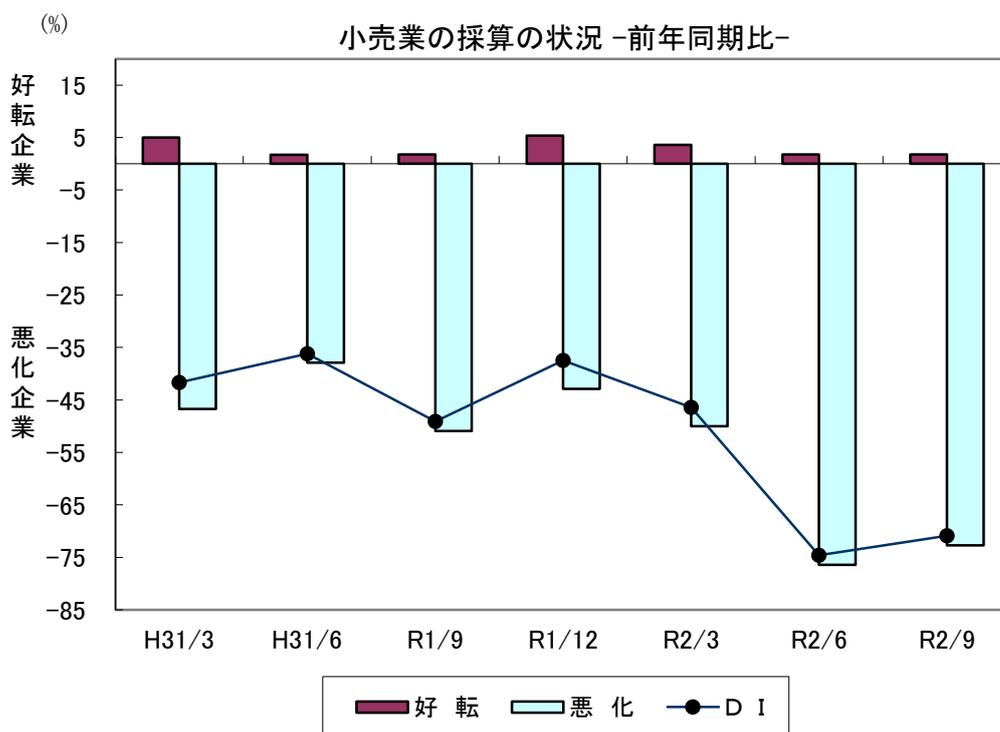
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から1.8ポイント減少し、1.8%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から26.4ポイント増加し、76.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から28.2ポイント悪化し、マイナス74.6ポイントと大幅な下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して3.7ポイント改善し、マイナス70.9ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が今期と同様の1.8%、「悪化」と回答した企業が3.7ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

◎小売業の採算（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
好転	5.0	1.7	1.8	5.4	3.6	1.8	1.8
悪化	46.7	37.9	50.9	42.9	50.0	76.4	72.7
D I	△ 41.7	△ 36.2	△ 49.1	△ 37.5	△ 46.4	△ 74.6	△ 70.9



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期と同様の1.8%であった。一方「悪化」と回答した企業は前期から15.2ポイント増加し、50.9%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から15.2ポイント悪化し、マイナス49.1ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して3.6ポイント悪化し、マイナス52.7ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が1.8ポイント減少、「悪化」と回答した企業が1.8ポイント増加であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

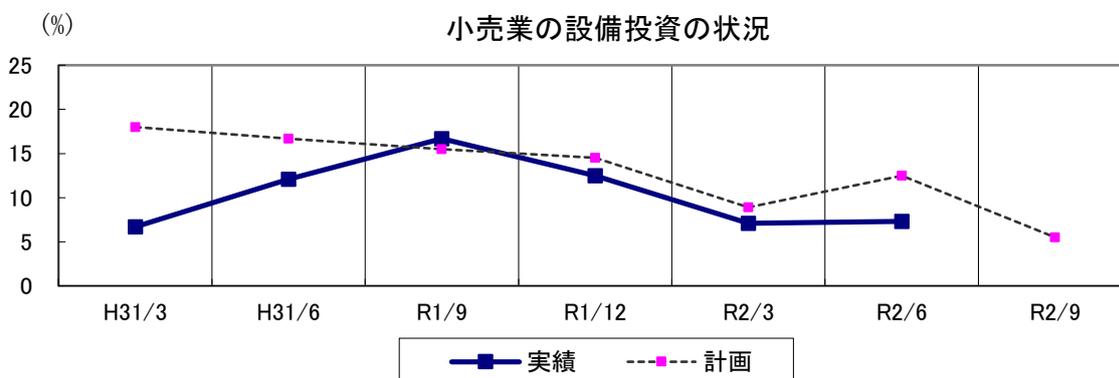
◎小売業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
好転	3.3	1.7	0.0	0.0	1.8	1.8	0.0
悪化	40.0	17.2	27.3	30.4	35.7	50.9	52.7
D I	△ 36.7	△ 15.5	△ 27.3	△ 30.4	△ 33.9	△ 49.1	△ 52.7

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から0.2ポイント増加し7.3%となっている。投資内容では「販売設備」「OA機器」「福利厚生施設」「その他」が25.0%で、他は0%となっている。

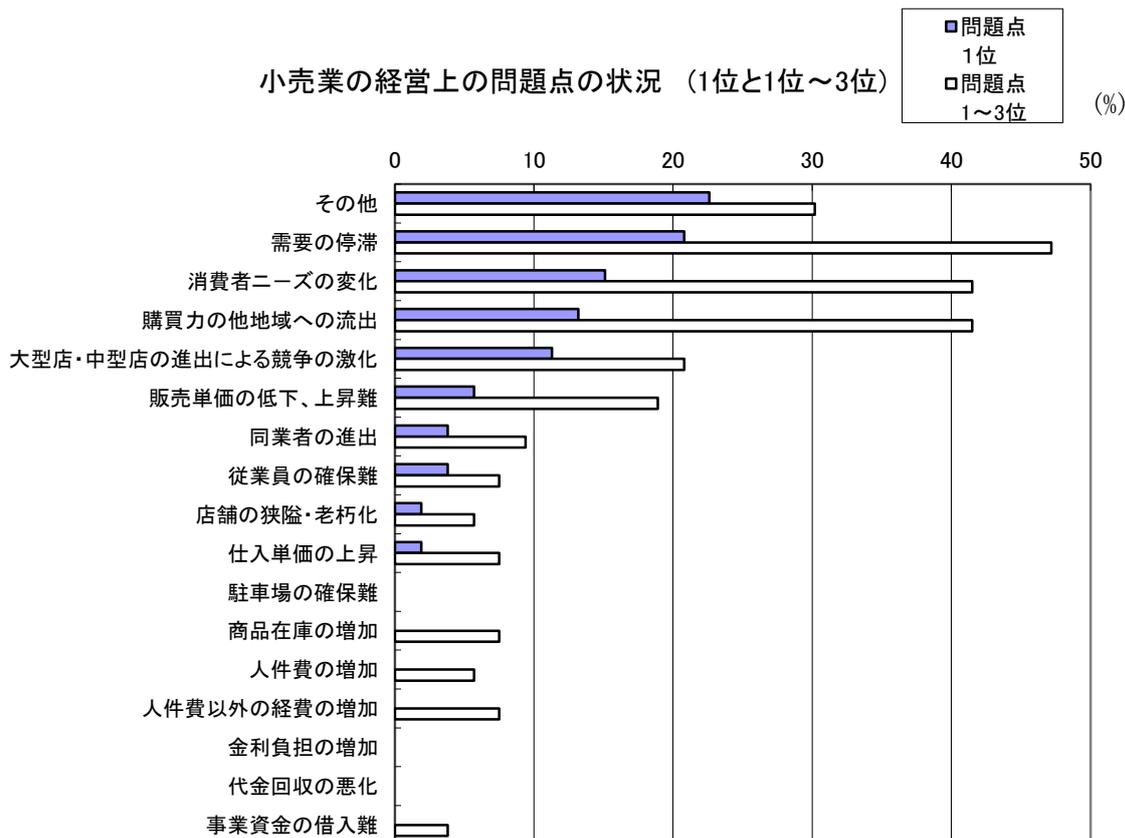
来期に設備投資を計画している企業は5.5%であり、今期計画から7.0ポイント減少、今期実績からは1.8ポイント減少している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「その他」が22.6%、「需要の停滞」が20.8%、「消費者ニーズの変化」が15.1%、「購買力の他地域への流出」が13.2%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が11.3%、他は10%未満となっている。

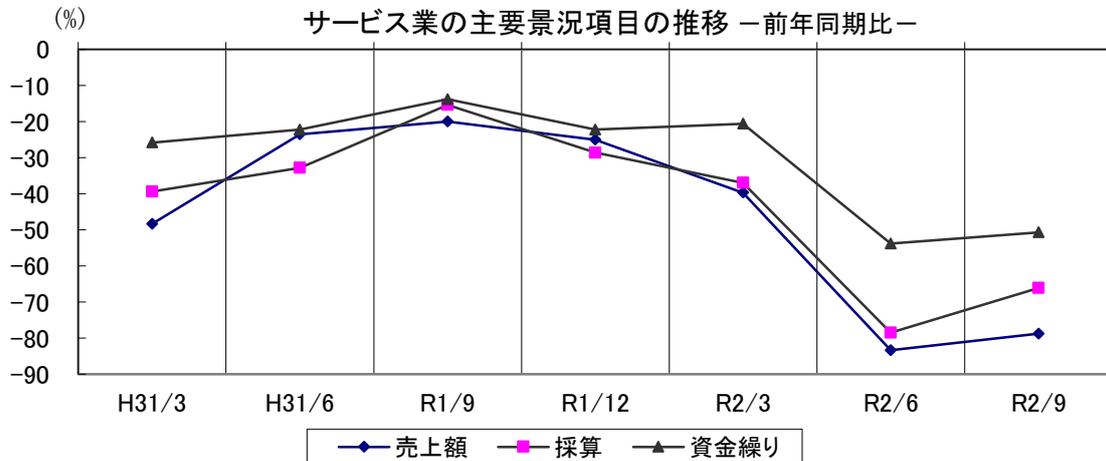
第1位～3位までの合計の問題点は、「需要の停滞」(複数回答以下同じ)が47.2%、「購買力の他地域への流出」「消費者ニーズの変化」が41.5%、「その他」が30.2%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が20.8%、「販売単価の低下、上昇難」が18.9%、他は10%未満となっている。



5. サービス業

今期(令和2年 4～6月期)の前年同期比DI値は、前期DI値と比較して売上高でマイナス83.4ポイント(43.7ポイント悪化の大幅な下向き)、採算でマイナス78.5ポイント(41.5ポイント悪化の大幅な下向き)、資金繰りでマイナス53.8ポイント(33.2ポイント悪化の大幅な下向き)と、売上高、採算、資金繰りで大幅な悪化となっている。

来期(令和2年 7～9月期)見通しの前年同期比DI値は、今期DI値と比較して売上高でマイナス78.8ポイント(4.6ポイント改善のほぼ横ばい)、採算でマイナス66.1ポイント(12.4ポイント改善の上向き)、資金繰りでマイナス50.7ポイント(3.1ポイント改善のほぼ横ばい)と、売上高、資金繰りでほぼ現状維持、採算で好転の見通しとなっている。



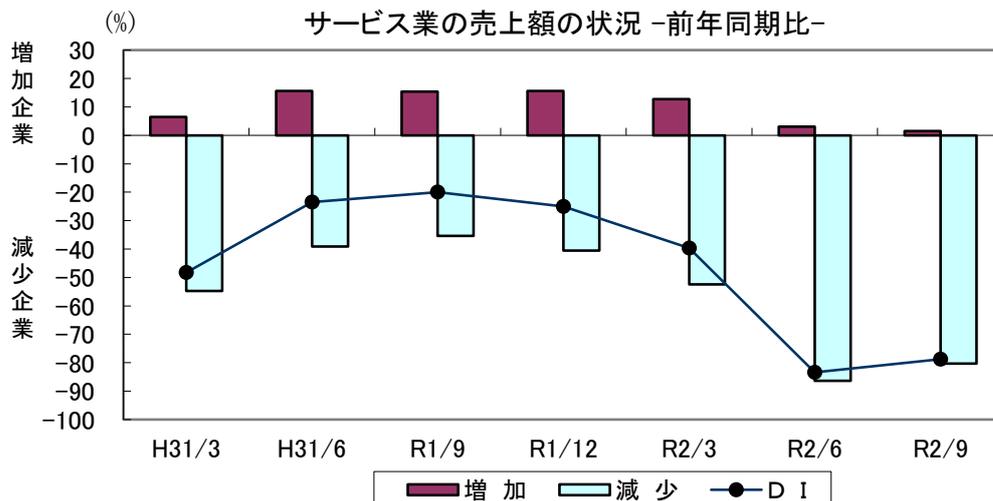
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から9.7ポイント減少し、3.0%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から34.0ポイント増加し、86.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から43.7ポイント悪化し、マイナス83.4ポイントと大幅な下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して4.6ポイント改善し、マイナス78.8ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「増加」と回答した企業が1.5ポイント減少、「減少」と回答した企業が6.1ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

◎サービス業の売上額 (前年同期比)

					前期	今期	見通し
年 / 月	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
増加	6.5	15.6	15.4	15.6	12.7	3.0	1.5
減少	54.8	39.1	35.4	40.6	52.4	86.4	80.3
D I	△ 48.3	△ 23.5	△ 20.0	△ 25.0	△ 39.7	△ 83.4	△ 78.8



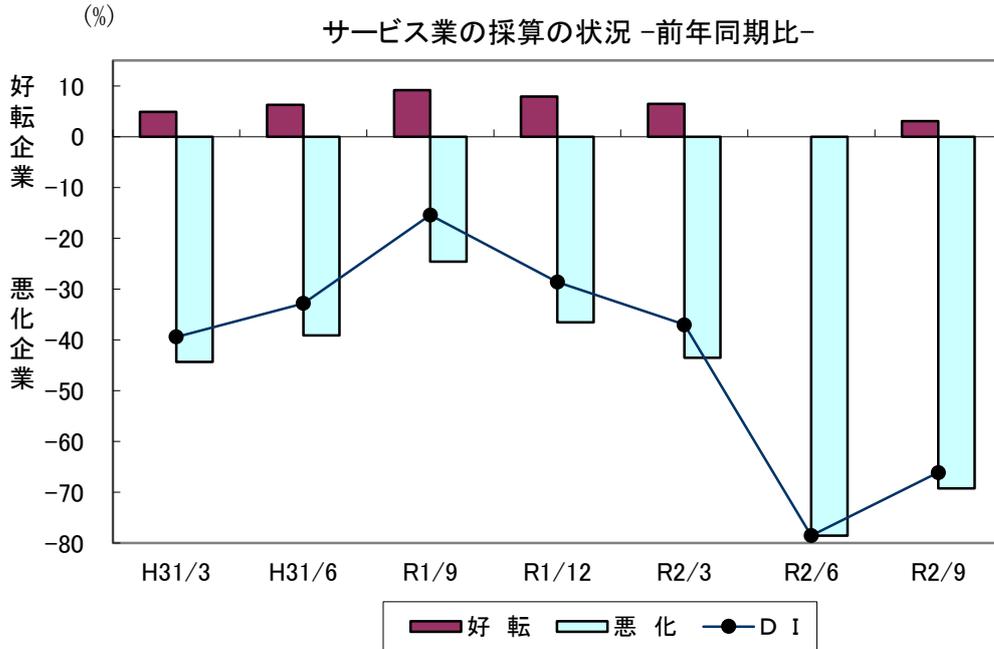
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から6.5ポイント減少し、0.0%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から35.0ポイント増加し、78.5%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から41.5ポイント悪化し、マイナス78.5ポイントと大幅な下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して12.4ポイント改善し、マイナス66.1ポイントと上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が3.1ポイント増加、「悪化」と回答した企業が9.3ポイント減少であることから、好転の見通しとなっている。

◎サービス業の採算（前年同期比）

					前期	今期	見通し
年 / 月	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
好転	4.9	6.3	9.2	7.9	6.5	0.0	3.1
悪化	44.3	39.1	24.6	36.5	43.5	78.5	69.2
D I	△ 39.4	△ 32.8	△ 15.4	△ 28.6	△ 37.0	△ 78.5	△ 66.1



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から4.8ポイント減少し、0.0%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から28.4ポイント増加し、53.8%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から33.2ポイント悪化し、マイナス53.8ポイントと大幅な下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して3.1ポイント改善で、マイナス50.7ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が3.1ポイント増加、「悪化」と回答した企業が今期と同様の53.8%であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

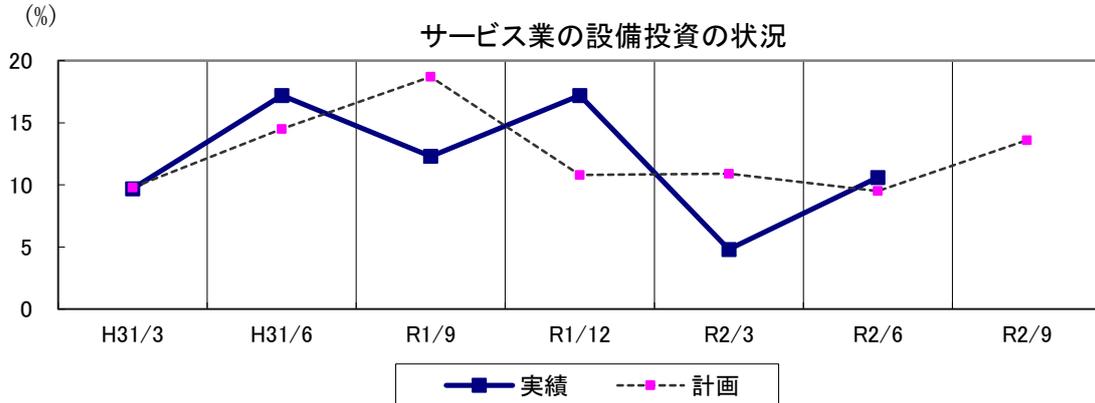
◎サービス業の資金繰り（前年同期比）

					前期	今期	見通し
年 / 月	H31/3	H31/6	R1/9	R1/12	R2/3	R2/6	R2/9
好転	3.2	3.2	3.1	1.6	4.8	0.0	3.1
悪化	29.0	25.4	16.9	23.8	25.4	53.8	53.8
D I	△ 25.8	△ 22.2	△ 13.8	△ 22.2	△ 20.6	△ 53.8	△ 50.7

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から5.8ポイント増加し10.6%となっている。投資内容では「建物」が57.1%、「車両・運搬具」「付帯施設」「OA機器」が28.6%、「土地」「サービス」が14.3%で、他は0%となっている。

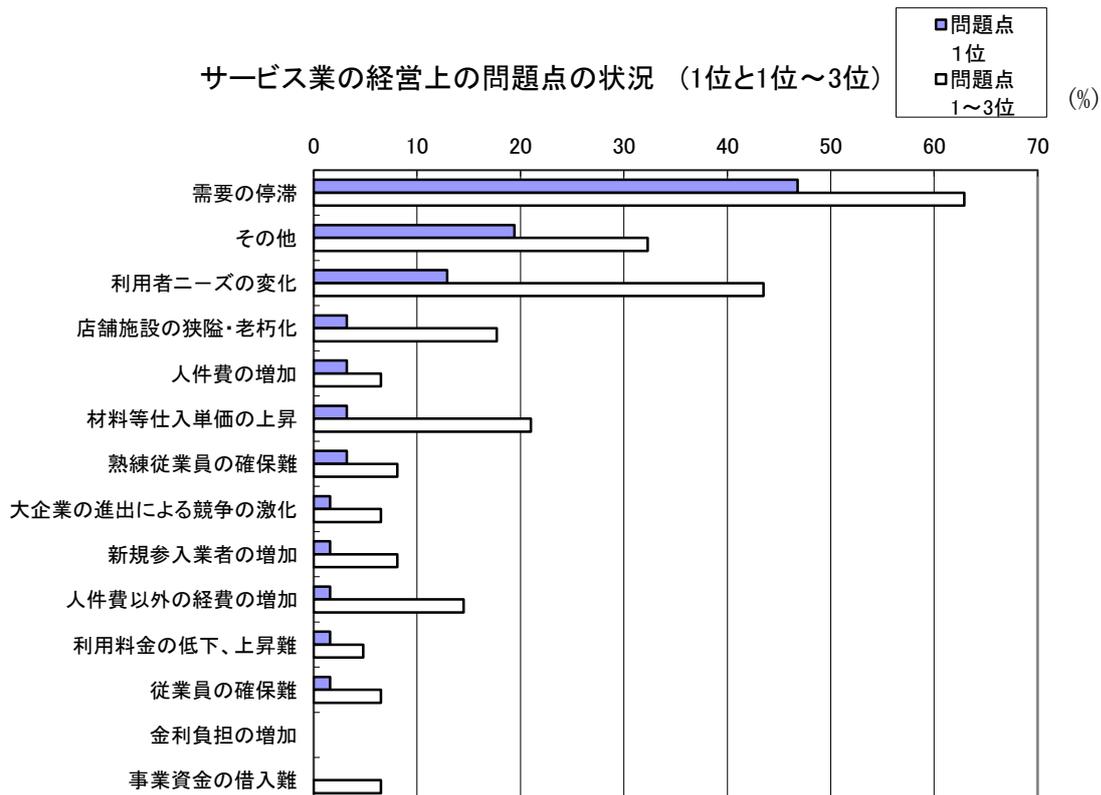
来期に設備投資を計画している企業は13.6%であり、今期計画から4.1ポイント増加、今期実績からは3.0ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「需要の停滞」が46.8%、「その他」が19.4%、「利用者ニーズの変化」が12.9%、他は10%未満となっている。

第1位～3位までの合計の問題点は、「需要の停滞」(複数回答以下同じ)が62.9%、「利用者ニーズの変化」が43.5%、「その他」が32.3%、「材料等仕入単価の上昇」が21.0%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が17.7%、「人件費以外の経費の増加」が14.5%、他は10%未満となっている。



調査対象企業の

(1) 業種別(中分類)企業数

製 造 業				建 設 業			
業 種	企 業 数	構 成 比 (%)		業 種	企 業 数	構 成 比 (%)	
食 料 品	11	22.0		総 合 工 事 業	24	64.9	
飲 料 ・ 飼 料 ・ た ば こ	1	2.0		職 別 工 事 業	6	16.2	
織 維 工 業	1	2.0		設 備 工 事 業	7	18.9	
衣 服 ・ そ の 他 織 維 製 品	4	8.0					
木 材 ・ 木 製 品	2	4.0					
家 具 ・ 装 備 品	1	2.0					
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品							
印 刷 ・ 同 関 連 産 業	2	4.0					
化 学 工 業							
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	1	2.0					
窯 業 ・ 土 石 製 品	1	2.0					
鉄 鋼 業							
金 属 製 品	5	10.0					
一 般 機 械 器 具	7	14.0					
電 気 機 械 器 具							
情 報 通 信 機 械 器 具							
電 子 部 品							
輸 送 用 機 械 器 具	1	2.0					
精 密 機 械 器 具	3	6.0					
そ の 他	10	20.0					
合 計	50	100.0		合 計	37	100.0	

(2) 従業員数別企業数

従 業 員	製 造 業		建 設 業		小 売 業		サ ー ビ ス 業	
	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)
0 ~ 2 人	17	34.0	8	21.6	45	81.8	39	59.1
3 ~ 5	11	22.0	9	24.3	9	16.4	15	22.7
6 ~ 10	6	12.0	7	18.9	1	1.8	8	12.1
11 ~ 20	8	16.0	8	21.6			2	3.0
21 ~ 50	3	6.0	4	10.8			2	3.0
51 ~ 100	4	8.0	1	2.7				
101 ~ 300	1	2.0						
合 計	50	100.0	37	100.0	55	100.0	66	100.0

福島県商工会連合会および各広域指導センター住所

名 称	郵便番号	住 所	電 話	F A X
福島県商工会連合会	960-8053	福島市三河南町1番20号 (コラッセふくしま9F)	024-525-3411	024-525-3413
中通り広域指導センター	962-0028	須賀川市茶畑町46-105	0248-94-2680	0248-94-2677
会津広域指導センター	969-6195	大沼郡会津美里町字北川原 41 会津美里町役場本郷庁舎3F	0242-93-5607	0242-56-3815
浜通り広域指導センター	970-8026	いわき市平堂根町4の17 いわき中央ビル5F	0246-25-1011	0246-25-1013